

### 3 ポール・竿の着脱方法

説明に使用するイラストは製品の左側を基準としています。操作方法は右側も同様です。

- ・竿に何もかかっていない状態でポール・竿を操作してください。  
(物がかかった状態で操作すると、落下の恐れがあります。)
- ・操作するときは指はさみなどに注意の上、周囲に人や物がいないことを確認し、片側ずつゆっくりと行ってください。
- ・本製品はポールと竿が一体型になっており、ポールと竿を分解することはできません。

着脱操作の動画はコチラ⇒



#### 【取付ける場合】

① ポール  
ポールキャッチ  
竿

② 開口部  
本体  
ポール  
ポール  
少し傾ける  
ポールを少し傾けると着脱しやすくなります。

③ ポールキャッチ ※紛失注意  
竿  
倒す  
ポールキャッチを竿と平行に倒してから引き抜くと、簡単に取り外せます。無理に外すと破損の原因になりますので、ご注意ください。

④ 少し傾ける  
反対側も同様に取付けてください。  
※製品の落下、周囲への接触などにご注意ください。

・ポールキャッチからポールを取外す。  
・ポール先端を少し傾けた状態で、本体側面の開口部に入れて下げる。  
・竿からポールキャッチを取外す。  
※取外したポールキャッチは無くさないようご注意ください。  
また、本用途以外に使用しないでください。

#### 【取外す場合】

① ポールキャッチ  
竿

② 開口部  
本体  
ポール  
ポール  
上へ持ち上げ、少し傾ける

③ 指はさみ注意  
ポール  
ポールキャッチ  
竿

④ 少し傾ける  
上へ持ち上げ、少し傾ける

・ポールキャッチを竿へ取付ける。  
※ポールの先端付近に来るよう取付けてください。  
・ポールを上へ持ち上げ、少し傾けた状態で本体側面の開口部から外す。  
・反対側も同様に取外してください。  
※製品の落下、周囲への接触などご注意ください。

## 株式会社 川口技研

〒333-0844 埼玉県川口市上青木 1-14-41 TEL 048-255-5411 FAX 048-255-8228 <https://www.kawaguchigiken.co.jp/>

Tム-0427-02 24.03

## 取付説明書

軒天用物干金物

### ホスクリーン SPU 型

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
取付前に本書をよくお読みのうえ、手順に従って安全に注意し、正しく取付けてください。

取付けは、製品の落下や事故を防ぐために建築構造を理解された施工業者様が行ってください。

#### 梱包内容

ポール  
竿  
ポール・竿：1セット

本体：2個

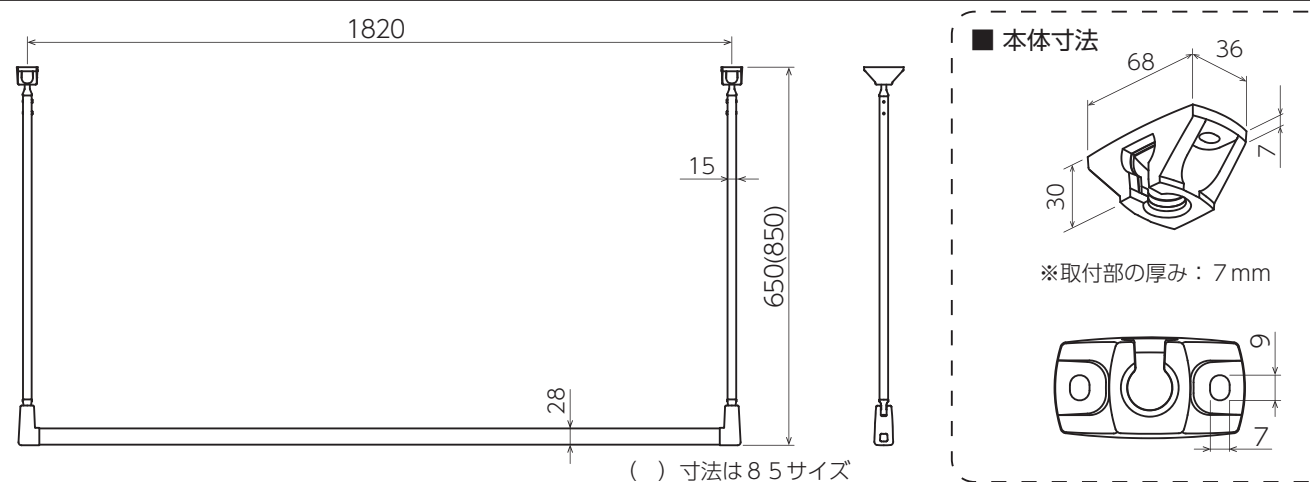
本体取付ネジ：4本  
(タッピングネジφ5×50)

ポールキャッチ：2個  
※竿へ付属された状態で梱包されています。

取付説明書(本書)：1枚

取扱説明書：1枚  
(竿に巻き付けてあります)

#### 寸法図(単位:mm)



#### 取付け上の注意

**⚠ 警告** 「取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容。」です。

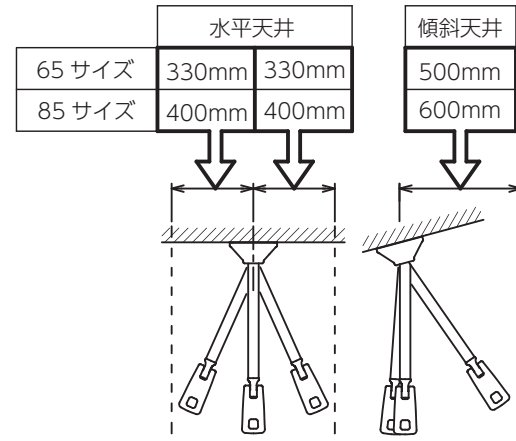
- 高所での作業は転落や部品落下に注意する。  
(部品が落下すると思わぬ事故の原因になります。)
- ガス給湯器の近くには取付けない。  
(吊り下げた衣類がガス給湯器に近づくと火災の原因になります。)

**⚠ 注意** 「取扱いを誤った場合、傷害を負うこと又は物的損害の発生が想定される内容。」です。

- 取付部の下地が十分な強度を持っていることを、必ず確認する。
- 電動ドライバーなどで締付け過ぎない。  
(強力な電動工具では製品や躯体に無理な負荷がかかり、落下・故障・破損などの原因になります。)
- 製品を分解、改造しない。
- 天井や壁の洗浄を行う場合は製品を十分に養生する。  
(洗浄剤が付着すると腐食の原因となります。)

## 取付位置、取付方法

- 壁面やガラス面に竿が当たらないよう、右図の寸法以上離れた位置に本体を取付けてください。
- ※竿が当たって、ガラス等が破損する恐れがあります。
- ※ポールサイズによって寸法が異なりますので、取付ける前にポール・竿が周辺に当たらないことを確認してください。



- 横野縁へは取付けができません。
- 本体の開口部同士が向き合う方向に向けて取付けてください。
- ※それ以外の方向で取付けると、製品落下等の事故に繋がる恐れがあります。

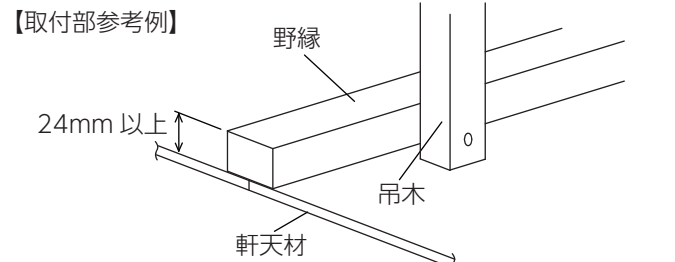


## 取付下地の補強・確認

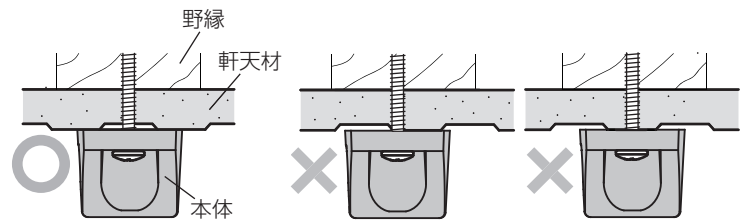
- 木製下地、アルミ材、コンクリート天井へ取付けることが可能です。
- ※横野縁、軽天材への取付けはできません。
- 傾斜天井 15度（2寸5分）まで取付けできます。

### ■木製下地の場合

- 木製下地が本体取付ネジの締付けにより、割れ・破損等を起こさない寸法であること。
- 木製下地の厚みが 24mm 以上あり、且つ十分な強度があること。吊木が必ずあること。（ネジの掛かり量が有効 24mm 以上であること。）



※野縁や吊木は建物構造に、しっかりと固定されていること。



本体の両端部が軒天材の凸部に当たっていない。

### ■アルミ材の場合

- 取付け部分の板厚が 2mm 以上あること。

### 【軒天材がリブ柄の場合の注意】

- 本体の両端部が必ず軒天材の凸部に当たっていること。

## 仕様

### ■材質

本体	: アルミダイカスト（塗装仕上） ポリアセタール
ポール、竿	: アルミ押出型材（アルマイト＋塗装） アルミダイカスト（塗装仕上） ポリアセタール
ネジ類	: ステンレス

### ■製品重量（1セット当たり）

65 サイズ	: 約 1.9kg
85 サイズ	: 約 2.0kg

※ 上記仕様などは改良のため、予告なく変更する場合があります。

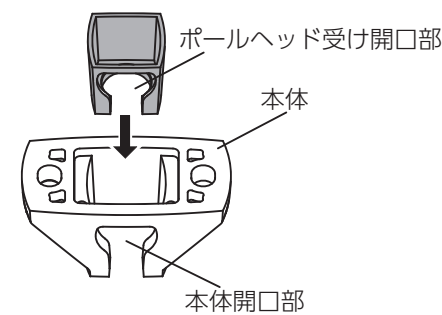
## 取付方法（単位:mm）

### 1 本体取付け

- 取付方法は、天井や下地の材質によって異なります。
- 下地のない箇所には取付けできません。
- 取付寸法を正確に測り、取付場所を決めてください。（取付寸法がずれるとポールが斜めになることがあります。）
- 必ず付属の本体取付ネジ、決められたアンカーをご使用ください。

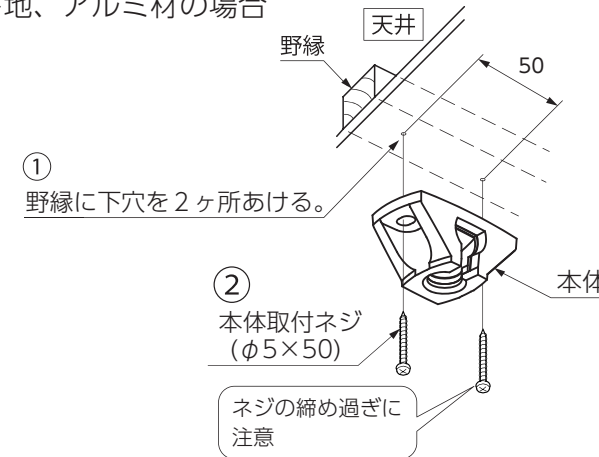
#### 【本体から樹脂部品が外れた場合】

①

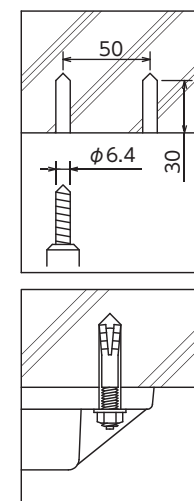


- 本体へポールヘッド受けを入れてください。
- ※本体開口部とポールヘッド受け開口部を同じ方向に向けてください。

#### ■木製下地、アルミ材の場合



#### ■コンクリート天井の場合



M6 芯棒打込み式アンカー（おねじタイプ）2個を別途ご用意ください。（全長 45mm、ネジ長さ 15mm）

①ピッチ 50mm、穴径  $\phi 6.4$ mm、深さ 30mm の下穴を 2ヶ所あけてください。

- ※本体の上から直接、下穴をあけないでください。
- ※下穴は垂直にあけてください。
- ※下穴内部の切り粉は、除去してください。

②下穴にアンカーを挿入してハンマーで芯棒を打ち込んでください。

- ※本体の上から芯棒を打ち込まないでください。

③本体を当てがい、ソケットレンチを使用して手締めでナットを締め込んでください。

- ※電動工具を使用すると、製品本体にキズが付く恐れがあります。

### 2 取付後の点検

最後に右記の箇所を必ず点検してください。

部品	確認事項
本体	ぐらつかず、ネジが最後まで締まっていること。
ポール・竿	ポール・竿の着脱が不具合なくできること。